

まちを知る 議会を知る

みのかも 市議会 だより

2023.5.1

No.193

主な内容

- ◆ 定例会の審議結果 …… 2～4P
- ◆ 議案クローズアップ …… 5P
- ◆ 令和5年度予算審査の概要
…………… 6～7P
- ◆ 委員会審査の概要 …… 8～9P
- ◆ 市政一般に対する質問と答弁
…………… 10～17P
- ◆ 編集後記・お知らせ
…………… 18P

令和5年市議会第1回定例会
一般会計226億円ほか各会計の
新年度予算案を可決

中山道会館のヤドリギに飛来したヒレンジャク(写真提供：可児勝彦氏)

定例会の審議結果

令和5年

第1回

定例会

一般会計226億円ほか各会計の新年度予算案を可決

令和5年2月22日に美濃加茂市議会第1回定例会が開会され、会期を3月24日までの31日間と決定しました。その後、令和4年第4回定例会からの継続審査となっていた、請第4号について、委員長報告のあと、質疑、採決まで行いました。その後、総額226億円の令和5年度一般会計予算を含む25案件（請願2件含む）を上程し、提案説明を行いました。そのうち、美濃加茂市教育委員会の委員の任命について（議第22号）を含む計2議案については、質疑、採決まで行いました。また、請願2件については委員会に付託し、散会しました。

第31日目（最終日）は、初日に採決した2議案を除く23議案（請願2件含む）について、各常任委員会及び予算決算特別委員会の委員長報告があり、討論（反対）、採決を行いました。また、最終日に追加上程した、議第23号から議第27号までの5議案については、議案説明の後、質疑、採決を行い、定例会を閉会しました。

令和5年度経営方針

「第6次総合計画×未来への五カ条」

命を護る
(まもる)

人を創る
(つくる)

暮らしを繋ぐ
(つなぐ)

街を興す
(おこす)

庁舎を展く
(ひろく)

牧野ふれあい広場整備事業 (2億4万円)

市民スポーツ（競技スポーツ、生涯スポーツ、健康スポーツ）の振興を図り、地域防災拠点機能を備えた陸上競技場等の整備を行います。



消防団活動事業 (6,649万円)

地域住民の生命と財産を守る消防団に対し、消防機械器具の整備や被服などの貸与を行い、円滑な活動ができるよう支援します。



まちづくり協議会事業 (661万円)

地域の課題解決を地域自らが発見、解決し、地域のより良いくらしのための活動や協議会の立ち上げに対し、交付金や情報提供等により支援を行います。



山之上まちづくり協議会

子育て支援事業 (2,269万円)

保護者の子育ての悩みや孤独感を軽減し楽しく子育てができるように、交流の場や学び場を作ったり、自分なりの子育ての方法をみつける手助けを行います。



都市公園整備事業 (1億5,192万円)

市民が安全で快適な憩いの場所として利用できる公園を維持するため清掃や施設の改修及び保守点検等を行います。



森山公園

多文化共生事業 (1,759万円)

地域、企業・事業所、行政が、第3次多文化共生推進プランに挙げられた役割を果たしつつ、多文化共生社会づくりを推進する。



あい愛バス運行事業 (2億560万円)

通勤・通学・通院や買い物等の交通手段を確保し、子どもからお年寄りや多くの皆さんが安心・安全で外に出かけられる公共交通網の整備を図る。



新庁舎整備事業 (1億2,227万円)

施設や整備の老朽化が進んでいる市役所本庁舎を整備するため、市民ニーズに基づいた基本構想の策定を行います。



定例会の審議結果

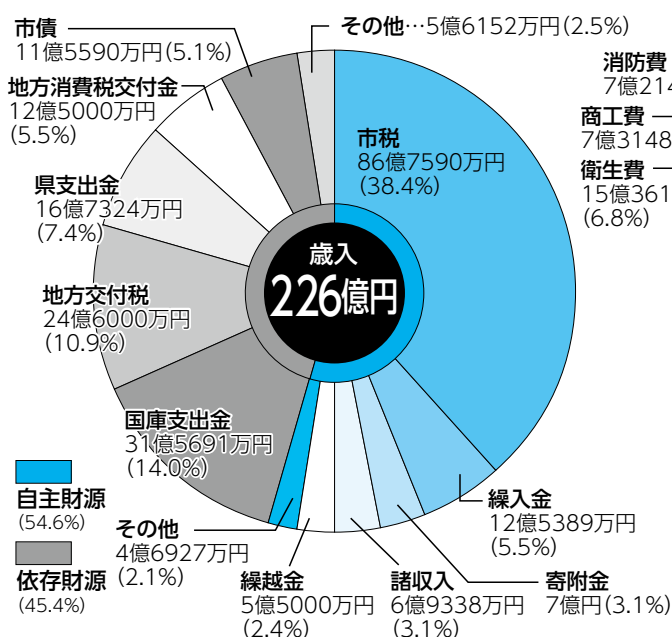
〈市長の所信表明より〉

市長就任後、この1年間は現場第一主義を貫き、50年先、100年先を見据え、一人ひとりの市民の皆様と丁寧に意見を交わし、未来への5か条に沿った市営運営に取り組んでまいりました。まだまだ取り組まなければならない課題は山積していますが、諸課題を次の世代に先送るすることなく、長期的な展望に立って解決に向けて努力し、市政発展のため邁進していく所存であります。

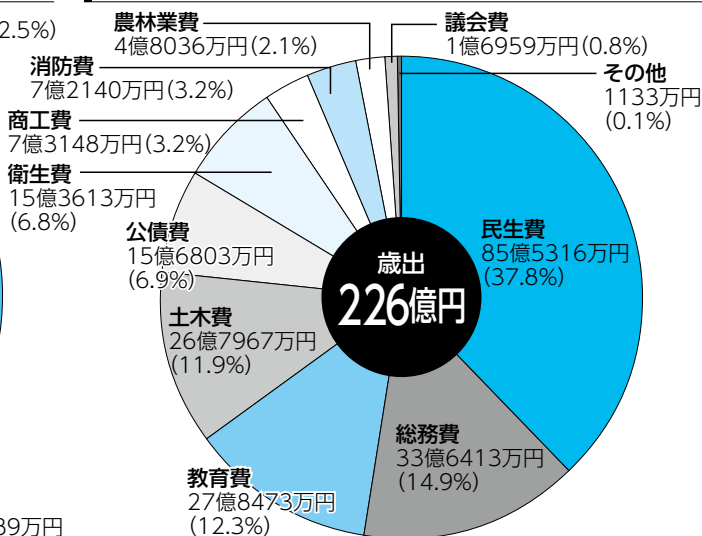
令和5年度の予算案は、「第6次総合計画×未来への5か条」として、「孫子の代まで住み続けられるまち」の実現に向け、50年、100年先を見据えたとき、現時点での課題は何なのか、といった視点から「7つの重点テーマ」を設定し、そのテーマに沿った事業を展開してまいります。

一般会計予算

一般会計予算の歳入



一般会計予算の歳出



※金額は千円単位を四捨五入、割合は小数点第2位を四捨五入しています。

議案の審議結果

賛否の分かれた議案

| 議案番号 | 議案名 主な内容 | 議決結果 | 議員名 | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|--|------|------|-------|-------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|---------|---------|---------|---------|-------|-------|-------|
| | | | 谷本 梓 | 亀井 滋昭 | 高井 実枝 | 額 織 源 太 | 渡 邊 一 子 | 田 口 智 子 | 永 田 徳 男 | 坂 井 文 好 | 岸 一 夫 | 渡 辺 孝 男 | 村 瀬 正 樹 | 金 井 文 敏 | 柘 植 宏 一 | 森 弓 子 | 森 厚 夫 | 山 田 栄 |
| 議第11号 | 令和5年度美濃加茂市一般会計予算 予算総額226億円 (前年度比+3.7%) | ◎ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議第12号 | 令和5年度美濃加茂市国民健康保険会計予算 予算総額51億5,227万5千円 (前年度比-0.3%) | ◎ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議第13号 | 令和5年度美濃加茂市介護保険会計予算 予算総額40億8,209万円 (前年度比+1.2%) | ◎ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議第14号 | 令和5年度美濃加茂市後期高齢者医療会計予算 予算総額7億4,572万円 (前年度比+1.0%) | ◎ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議第27号 | 原子力発電所の再稼働および新增設は国民的議論を尽くしたうえで決定することを求める意見書について | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | - | ○ | × | ○ | ○ | ○ |
| 請第1号 | 18歳年度末までの子どもの医療費無料化を求める請願について | × | × | × | × | ○ | × | × | × | × | ○ | - | × | × | × | × | × | × |
| 請第2号 | 原子力発電所の再稼働および新增設は国民的議論を尽くしたうえで決定することを求める意見書の提出を求める請願について | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |

定例会の審議結果

議案の審議結果

全会一致で可決された議案

| 議案番号 | 議案名 | 主な内容 |
|-------|---|---|
| 請第4号 | 不登校児童生徒に対して多様な学習機会確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書の採択を求める請願について | 不登校児童生徒に対して多様な学習機会確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書を国へ提出するもの。 |
| 議第1号 | 美濃加茂市個人情報の保護に関する法律施行条例について | 個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴い、法に基づく統一的な運用を行うため必要な事項を定めるもの。 |
| 議第2号 | 美濃加茂市情報公開・個人情報保護審査会条例について | 美濃加茂市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定に伴い、情報公開及び個人情報の保護の運用状況、審査請求等の調査、答申等を行う附属機関について定めるもの。 |
| 議第3号 | デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について | デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、個人情報の保護に関する法律に関連する条例の整理を行うもの。 |
| 議第4号 | 美濃加茂市職員の定数条例の一部を改正する条例について | 定年引上げ後も継続して新規職員の採用を行うため、職員の定数を増やすもの。 |
| 議第5号 | 美濃加茂市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について | 人事院規則の改正に準じ、職員の休憩時間を柔軟に取得できるようにするもの。 |
| 議第6号 | こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について | こども家庭庁の創設に伴い、所要の改正を行うもの。 |
| 議第7号 | 美濃加茂市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について | こども家庭庁の創設に伴い、所要の改正を行うもの。 また、民法改正により懲戒権が削除されたことに伴い、児童福祉施設等に関する規定について所要の改正を行うもの。 |
| 議第8号 | 美濃加茂市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び美濃加茂市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について | 家庭的保育事業等の基準省令及び放課後児童健全育成事業の基準省令の改正により、各事業の設備及び運営に関する基準を定める条例について所要の改正を行うもの。 また、民法改正により懲戒権が削除されたことに伴い、所要の改正を行うもの。 |
| 議第9号 | 美濃加茂市国民健康保険条例の一部を改正する条例について | 出産育児一時金の引上げ、賦課限度額及び軽減判定所得基準の引上げに伴い、所要の改正を行うもの。 |
| 議第10号 | 令和4年度美濃加茂市一般会計補正予算（第10号） | 4,445万7千円の増額、予算総額は241億8,519万8千円 |
| 議第15号 | 令和5年度美濃加茂市介護認定・障がい者自立支援認定審査会会計予算 | 予算総額4,046万7千円（前年度比+6.5%） |
| 議第16号 | 令和5年度美濃加茂市古井財産区会計予算 | 予算総額181万6千円（前年度比+5.6%） |
| 議第17号 | 令和5年度美濃加茂市山之上財産区会計予算 | 予算総額112万1千円（前年度比-9.8%） |
| 議第18号 | 令和5年度美濃加茂市水道事業会計予算 | 予算総額24億6,369万円（前年度比+8.7%） |
| 議第19号 | 令和5年度美濃加茂市下水道事業会計予算 | 予算総額43億7,377万円（前年度比+2.1%） |
| 議第20号 | 市道路線の認定について | 市道前平530号線外6路線の認定 |
| 議第21号 | 可茂消防事務組合規約の一部改正に関する協議について | 可茂消防事務組合規約の一部改正について地方自治法第290条の規定により、議会の議決を求めるもの。 |
| 議第22号 | 美濃加茂市教育委員会の委員の任命について | 任期満了に伴う後任委員の任命同意（安藤摩里氏 新任） |
| 議第23号 | 美濃加茂市議会の個人情報の保護に関する条例について | 個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴い、法に基づく統一的な運用を行うため必要な事項を定めるもの。 |
| 議第24号 | 子ども医療費助成制度の18歳まで拡充を求める意見書について | 18歳までのすべての子どもを対象とした、全国一律の子ども医療費助成制度の早急な創設を求めるもの。 |
| 議第25号 | 带状疱疹ワクチンへの助成及び定期接種化を求める意見書について | 一定の年齢以上の国民に対するワクチンの有効性等を早急に確認し、带状疱疹ワクチンの助成制度の創設や予防接種法に基づく定期接種化を求めるもの。 |
| 議第26号 | 不登校児童生徒に対して多様な学習機会確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書について | 不登校支援の一部である多様な学習支援を確保するための具体的対策を求めるもの。 |
| 諮第1号 | 人権擁護委員の候補者の推薦について | 任期満了に伴う後任委員の推薦同意（西田正幸氏 再任） |

議会を傍聴しました

今回の定例会を傍聴された方からいただいた主なご意見を掲載します。

- ・各市議さんの働きに今後も関心を持って、市民の声が届きますように感じました。
- ・今回の一般質問は、ベテラン議員と同じく新人議員の一般質問で若い人の市への要望や想いが強く感じられました。
- ・市議会を傍聴するのは初めてなのですが、議会でここまで市民の声を聞いていただけていて、話し合われているとは知りませんでした。実際に傍聴しないと気付くことができないことだと思うので、来てよかったです。
- ・給食費の無償化に消極的でがっかりしました。少子化問題は日本の未来に関わることであります。自治体や国がもっと危機感を持って真剣に取り組んでほしいと思います。子育てしやすいまちづくりを望みます。

定例会の審議結果



議案 クローズアップ

議第24号 〈子ども医療費助成制度の18歳まで拡充を求める意見書について〉

少子化や人口減少は日本が直面する重要課題である。コロナ禍等により2022年の出生数が過去最少の80万人を割り込む見通しとなり、想定を超えるペースでの少子化が進んでいる。

また、子どもの貧困化も深刻化しており、7人に1人が貧困にあるという厳しい実態が続いている中で、若い世代が経済的な心配をせずに子どもを産み育てられる環境づくりが切実に求められている。

なかでも、子どもの医療費は子育て世代にとって負担も大きく、その軽減は急務であり、親の経済状況に左右されることなく未来を担うすべての子どもたちが必要な時に安心して医療を受けられることが重要である。

子ども医療費助成制度は現在、すべての都道府県が市町村に助成を行い、多くの市町村がそれに上乗せをして子どもの医療費を助成している。

しかし、厳しい財政状況のもと地方単独事業であることから、助成の対象年齢や自己負担額などについては自治体格差が生じている。

少子化対策や福祉施策として、子ども医療費助成制度等の改善を安定的に進めるには、国による統一的な制度創設が必要であり、子育て世代の経済的負担軽減と、安心して子供を産み育てられる環境づくりが求められている。

よって、全ての子どもたちの健やかな成長のために、18歳までのすべての子どもを対象とした、全国一律の子ども医療費助成制度の早急な創設を強く要望する。

令和5年3月24日 美濃加茂市議会

議第25号 〈带状疱疹ワクチンへの助成及び定期接種化を求める意見書について〉

带状疱疹は、過去に水痘に罹患した者が加齢や過労、ストレスなどによる免疫力の低下により、体内に潜伏する带状疱疹ウイルスが再燃し発症するものである。

日本人では、50歳代から発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が発症すると言われており、治療が長引くケースや後遺症として痛みなどの症状が残るケースもある。

この带状疱疹の発症予防のために、ワクチンが有効とされているが、費用が高額になることから接種を諦める高齢者も少なくない。

また、带状疱疹による神経の損傷によって、その後も痛みが続く「带状疱疹後神経痛」と呼ばれる合併症に加え、角膜炎、顔面神経麻痺、難聴などを引き起こし、目や耳に障害が残ることもあると言われている。

よって、政府に対して一定の年齢以上の国民に対するワクチンの有効性等を早急に確認し、带状疱疹ワクチンの助成制度の創設や予防接種法に基づく定期接種化を強く求める。

令和5年3月24日 美濃加茂市議会

議会日誌 (主なもの)

2月

- 1日 文教民生常任委員会勉強会
- 2日 岐阜県市議会議長会 (下呂市)
- 3日 岐阜県庁視察
- 10日 共済会第125回代議員会 (東京都)
- 11日 岐阜健康管理センター内覧会
- 13日 文教民生常任委員会勉強会
- 15日 令和4年度第2回都市計画審議会
- 20日 議会運営委員会
新庁舎建設特別委員会
令和5年第1回美濃加茂市富加町中学校組合議会定例会
- 22日 市議会第1回定例会 (～3月24日)

3月

- 4日 「クアの道」認定記念式典
- 12日 令和4年度岐阜県自衛隊入隊・入校予定者激励会
- 13日 新庁舎建設特別委員会
- 15日 令和5年可茂地域一部事務組合議会定例会
- 16日 木曾川右岸用水土地改良区通常総代会

- 20日 モロッコの夕べin美濃加茂
- 22日 伊深公園 (仮称) 開園式典
- 24日 議会運営委員会
美濃加茂商工会議所通常議員総会・懇談会
- 28日 美濃加茂市富加町中学校組合議会臨時会
議会だより編集委員会
- 29日 令和4年度可茂地域懇談会
- 4月
- 10日 議会だより編集委員会
- 13日 東海市議会議長会定期総会 (松阪市)
- 14日 令和5年度美濃加茂市健康連合会定期総会
- 17日 議会だより編集委員会
- 19日 令和5年度美濃加茂青少年育成市民会議総会
美濃加茂商工会議所青年部第32回通常総会

予算審査の概要

令和5年度予算審査の概要

全議員で構成する「予算決算特別委員会」が、一般会計など各会計の予算について、前年度との比較や新規事業の内容、また、議会による事業評価（議会からの提言）が反映されているかなど、慎重にチェックしました。

《市一般会計予算》

☐ 法人市民税が減少となった要因は。

☑ 令和3年決算で法人税割だけで5億3,600万円に対して、令和4年末の見込みが、4億2,200万円と1億円ほどの減額だが、法人も回復基調に向かう見込みで令和3年度と同水準の6億9,100万円を計上している。

☐ 新庁舎整備事業の委託内容は。

☑ 令和5年度は、複数候補地の決定を目標とし、その段階でワークショップ、またいろいろな方法で市民の意見を調査することを考えており、ロードマップの令和5年度の事業を進める上でのコンサル委託料になる。

☐ 地域脱炭素移行・再エネ推進事業の内容は。

☑ 大きく分けて2つの事業から成り立っている。1つは、地域脱炭素移行再エネ推進交付金として、環境省の交付金のうち、重点対策加速化事業を活用し、太陽光発電設備の設置の補助等を進めていく事業、もう1つは、公共施設太陽光発電設備等導入調査で、ゼロカーボンシティの実現を目指し、2030年度までに脱炭素マイナス46%を達成することを目標に、公共施設に、太陽光発電設備の設置可能な施設等の調査を進めていくもので、こちらの事業も環境省の補助金を事業に活用していきたい。

なお、太陽光発電設備の設置可能な施設として国の方向性としては、避難所となり得る施設、あるいは公共施設も耐震の過重の担保できるような施設を優先する指針となっている。

☐ 自治体DX推進事業の窓口相談オンラインシステムの実証実験の詳細は。

☑ 来庁いただく時間や手間、交通手段を持たない方等が、本庁舎まで来庁されることなく、各種相談業務を連絡所で行えるように、ウェブ会議システムを整備していく。まず三和連絡所等から始め

て、業務についても各担当課と調整を図りながら、対応できるものを増やしていきたい。

☐ 各連絡所機能強化の方向性は。

☑ 自治会の課題が増えてきており、その課題に対応するためには、申請などの窓口強化も必要であるが、市民の方と話し合うための、職員の強化、職員の増員は必要でないかと考えており、DXも含めて、協議をしていきたい。

☐ 総合行政システム事業の増額理由は。

☑ 住民サービスを利用している総合行政情報システムについて、令和5年2月からリース契約に変更し、従来一括で支払っていたものを5年間のリース契約にした。毎月の月額で支払うので、賃貸借料として増えている。令和5年度は4,000万円程度を見込んでいる。

また、国で進めている総合行政情報システムの標準化対応があり、現在利用している総合行政情報システムについて、令和5年度は、住民記録のシステムと印鑑証明のシステムを国が定めた一定の標準的な仕様に改修するため、システム改修費用として、約1,647万円を見込んでいる。令和6年度、7年度に他の標準化対象システムも標準化していく。

☐ ふるさと納税広告掲載等PRの内容は。

☑ ふるさと納税に関わる業務のみで、ふるさと納税ポータルサイト、ウェブ上でふるさと納税を募集しているサイトに支払うものになる。昨今の事情から見ると、各ポータルサイトの利率が上がっているが、目標金額を達成するためにきちんと広告をしながら、寄附金を集めるための金額を設定している。

☐ ホームページ事業のリニューアルの内容は。

☑ 現在使っているホームページ管理システムが、機能的に不十分なところや使いづらいところがあ

予算審査の概要

り、従前より改善の希望・要望があり、来年度は、他市町村の利用しているシステム等の情報を収集し、比較検討しながら、別のデータセンターに新しいシステムの導入を進めていきたい。

問 プレスクール事業の内容は。

答 小学校入学前の年中、年長の外国籍児童に対して、保育時間中に、語彙調査を行ったり、日本語や生活習慣の訓練を行い、できる限りスムーズに小学校入学につなげる事業で、令和5年度は、太田第一保育園、加茂野保育園、森山学園、あじさい保育園で、年間1園約30回開催したい。また認可外保育園についても入学前の支援について調査を進めたい。

問 生活保護総務費の増額理由は。

答 委託料に生活保護医療扶助オンライン資格確認があり、マイナンバーカードを利用して医療機関などに行ったとき資格確認ができるようにシステム改修を予定している。

問 農業担い手育成事業の事業内容と効果は。

答 認定新規就農者、認定農業者、農事組合法人等の個人・法人団体を対象としている。地域の農業を守る担い手である認定農業者、新規就農者等を支援、育成を実施し、併せて生産基盤となる農地保全に取り組む地域団体への活動支援を実施する。また、グリーンインフラとしての農地保全に取り組む。

5年目までの新規就農者は、令和4年度では4名、そのうち1名が5年経過し認定農業者へ移行する予定。来年度の、新規就農者は2名ほど相談を受けている。

問 小規模企業者事業所等整備補助金の詳細は。

答 新規の事業者の方、今事業を営んでいて新たなステップを踏み出そうとする方には有益な補助金であると感じている。2,300万円の予算を計上しており、商工会議所と情報交換を通じ適切に対応していく。

問 姫Biz戦略事業の詳細は。

答 大きく分けて2つの事業から成り立っており、1つは企業支援で商工会館の1階に設けた姫Bizの相談窓口の運営を日本少子化対策ネットワークへ委託をしている。

もう1つは、平成姫街道に伴う起業支援補助金で、実際に中山道太田宿をステージに新たな起業をされる方、店舗を構えられる方等を含めた支援をしている。

なお、運営事業は、令和3年度の相談件数が456件で、そのうち市内に起業された方が14件、実店舗は4件で、会員数も50人程度年間増加している。また、今年度は、太田宿のマルシェが定期的に開催され、起業された方が販売し、そこでお客さんをつなげていく取組も併せて実施をしており、今後も継続的な支援を重ねていきたい。



太田宿マルシェ

〈市介護保険会計予算〉

問 生活支援コーディネートの実績と目標は。

答 令和4年度までに蜂屋地区、伊深地区、下米田地区に協議体を設立した。令和4年度は、森山地区の話合いの場を協議体として設立し、山之上、加茂野は、現在設立に向けての動きはある。令和5年度を目標として、主体となる団体やキーパーソンの方と協議を進めて、来年度の設立に向けて進めていきたい。

問 生活支援コーディネーターの環境整備の詳細は。

答 社会福祉協議会に委託しているが、生活支援コーディネーターの担当者が交代している現状がある。

来年度は2名のコーディネーターに活動していただくが、市としても月に1回以上は担当者とも連絡・協議を持っており、随時関係づくりについて助言・アドバイス等もしている。

〈市下水道事業会計予算〉

問 資本的収入及び支出の他会計長期借入金の詳細は。

答 水道事業会計からの借入れについては、現在のところ水道事業会計のほうが積立金、繰越金があるので、それを使って繰入をしている。この繰入金を、少しずつでも減らしていきたい。

委員会審査の概要

委員会審査の概要

本会議で付託された議案について、各常任委員会にて詳細を審査しました。

※ 《 》は議案名、◆は主な内容、（ ）は補正金額

企画建設常任委員会

《市情報公開・個人情報保護審査会条例について》

問 審査会委員の詳細は。

答 委員数は、現在の情報公開・個人情報保護審査会が5人であることや、国から示されたモデル条例から、5人以内を想定している。審査会のメンバーについては、現在、委員を務めていただいている識見を有する大学准教授、弁護士、税理士などを中心に進めていきたい。



《市職員の定数条例の一部を改正する条例について》

問 兼任又は併任職員数の上限はあるのか。

答 兼任又は併任で業務を兼務した場合の職員数について上限は設けていない。

《市道路線の認定について》

問 現在の市道の全長と管理体制は。

答 現在、市道の全長は約750kmであり、管理については、本市の地理情報システム（GIS）で行っている。

問 住宅のミニ開発等で寄附された市道の状況は。

答 寄付された道路についても、市道として管理しており、これまで大きな修繕やメンテナンス費用は発生していない。



《原子力発電所の再稼働および新增設は国民的議論を尽くしたうえで決定することを求める意見書の提

出を求める請願について》

原発は地球の存続に大きく影響するものであり、戦争やテロの標的になる可能性もある。しかし、エネルギーは地球上に人が住む限り必要なものであり、エネルギーの生産について慎重に取り組んでいかなければならない。また、ロシアによるウクライナ侵攻によってエネルギーの供給不安が叫ばれており、国内においても電力の安定的確保が重要な課題となっている。

そのような中で、原子力発電所の再稼働および新增設について、国民的議論を尽くすことは大切であり、慎重に進めていくべきである。よって本請願を採択すべきと考える、との意見があった。

それらの発言に基づき採決した結果、採択すべきものと全会一致で決した。

文教民生常任委員会

《こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について》

問 条例の詳細は。

答 こども家庭庁設置に伴い、現在の所管である厚生労働省に関する条文が子ども子育て支援法から削除され、引用する条文が繰り上がったことにより改正するものである。

《市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び美濃加茂市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について》

問 市内でインクルーシブ保育を実施している園はあるか。

答 条例に該当する市内の小規模保育園は、よつば保育園、りんご保育園と事業所内保育事業所のあゆみ保育所であるが、インクルーシブ保育を行っている事例はない。

問 保育園バスにブザーの設置を義務付けるとあるが、園児置き去りを防ぐためのマニュアル等は作

委員会審査の概要

成しているのか。

☑ 安全記録簿、点検記録簿等を含むマニュアルを整備している。今回の改正は、それに加えてブザーを設置することで更なる安全確保に努めていくものである。

問 安全計画の義務化とあるが、各園策定した場合 市で管理するのか。

☑ 安全計画の策定については、各保育園で策定することとなるが、市に提出しなければならないとは定められていない。各保育園で計画書を所有し、職員研修や訓練に活用したり、保護者へ情報提供するなど行っていく。

問 園児に対する保育士の適正人数のチェックは 行っているのか。

☑ 毎月、各園に運営費を支払う際に、園児と保育士の人数が記載されたデータにて確認している。また、年に一度保育園等に出向き、監査を行うことで適正な保育運営が行われているかチェックしている。

《市国民健康保険条例の一部を改正する条例について》

問 出産にかかる費用のうち、出産育児一時金を越える差額分を市で補助できないか。

☑ 出産費用については、自由診療で決めている部分もあることから、場合によっては出産育児一時金を越えるかもしれないが、現状、市から差額分を補助することは難しいと考える。

問 後期高齢者事業から財源を確保することによって、 国保会計に影響はないのか。

☑ 公費負担の部分で、一般会計から出産育児に関する補填があるため国保会計に影響はあまりないと考える。

《令和4年度市一般会計補正予算（第10号）》

◆長良川鉄道経営安定支援事業（1,819万8千円）

問 経営再建の具体策は。

☑ 都ホテルと連携した、観光列車「ながら」の運行や、沿線のすばらしい景色など、長良川鉄道の良さを、SNS等を活用してしっかりとPRしていきたい。また、外国人旅行客の利用も増えてきたので、外国語に対応したPRも検討していく。

問 関係者会議のメンバーと開催回数は。

☑ 現在、担当者会議と課長会議という形で、担当者会議は年に5回程度、課長会議は年に2回行っている。内容については、今後30年の安全確保

のための最低限の改修工事費用の算出の必要性や、乗客数を増加するための取り組みなど、様々な課題について協議している。



観光列車「ながら」

《18歳年度末までの子どもの医療費無料化を求める 請願について》

子育て世代の生活困窮や子どもの貧困が深刻になっており、内閣府の調査でも、子育てにお金がかかるから理想の子供数を持ってないとの回答が最も多くなっている。一般的に、高校生以上になれば病気やけがの頻度は低年齢の子どもに比べて低くなるが、治療費がかかることを理由に病気、けがを悪化させるようなことがあってはならない。子どもたちを健康で安心して育てられる環境が必要である、との賛成意見があり、一方で、本請願の趣旨について賛同するが、各自治体で医療費の無料化に伴う予算を確保することが厳しいのが現状である。本請願は、県や市に対し要望する内容となっているが、自治体格差が生じないためにも、国によって統一的な制度創設を構築する必要があると考える。市議会としても、本議会で国に対し、全国一律の子ども医療費助成制度の早急な創設を求める意見書を提出するため、本請願は趣旨採択とする意見や、同様の理由から不採択とするとの意見があった。

それらの発言に基づき採決した結果、不採択すべきものと賛成多数で決した。

議案や条例案の概要は、下記からご覧になることができます。

■美濃加茂市議会ホームページ

<http://gikai.city.minokamo.gifu.jp>

■閲覧方法

トップページ

本会議日程と議案

令和4年 第4回定例会



市政一般に対する質問と答弁

市政一般に対する質問と答弁

15人の議員が登場し、市政全般に対して、事業の執行状況や将来の方針などについて質問を行いました。
(掲載順は質問を行った順番)

掲載する内容は、各議員が行った質問と答弁の一部を要約したもので、議員から提出された原文を尊重して掲載しています。ご不明な点は、各議員にお尋ねください。

また、全ての質問と答弁は、「美濃加茂市議会 議会中継」にて配信していますので、こちらをご覧ください。

なお、議会の公式な記録は、後日公開される会議録にてご確認ください。



渡辺孝男 議長

美濃加茂市議会 議会中継

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/minokamo/WebView/rd/council.html>

美濃加茂市議会 議会中継

検索

議会中継



視聴方法

トップページ

会議名一覧

令和5年第1回定例会

3月8日・9日・10日

一般質問

会議録検索システム

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/minokamo/SpTop.html>



山田 栄 議員

再審請求について

問 2月1日の名古屋高裁の再審開始を認めない決定に対する所見は。

答 再審開始の判断が下されることは難しいことと承知していた。しかし新たな証拠を提出し、再び審理への扉が開かれるものと考えていたため、今回の決定は非常に残念であったと感じている。

問 今後の裁判に関する進め方は。

答 これまでの主張を改めて検討するとともに、新たな証拠の収集などを進めていく予定である。異議申し立てに関する対応は、弁護団が行い公務に支障のないよう、個人の時間の中で向き合っていく。

問 再審請求を続けること的美濃加茂市に対するイメージへの影響については。

答 個人として、冤罪については今後も向き合っていくかなければならない。ただし、市長として、市民の利益を最優先に考え、地域の問題を解決するために、政治家としての主張と、市長としての役割をバ

ランス良く行うことが重要だと考えている。市長としての役割を優先しながら、全ての人が安心して暮らすことができる世の中になるよう、政治家としての活動にも取り組んでいきたい。

問 地域経済活性化に向けた起業・創業・事業継承のセミナー開催の事業内容について。

答 新型コロナウイルス感染症拡大によって社会経済は大きく変容し、事業の継続や次世代への承継、新規事業分野の開拓などが課題となっており、こうした中、持続可能なまちづくりを進めるには若者が就業したい、創業したいと思える環境が必要である。そこで、起業、第2創業、企業内起業、事業承継などに意欲がある市内外の若者の掘り起こしを行い、本市において創業する意欲を創出するスタートアップ創業支援セミナーを実施していく。セミナーでは多彩な講師を招き、ゼミ方式、メンター制度*による学習満足度の向上を目指した伴走型の支援をしていく。

*メンター制度…豊富な知識と職業経験を有した職場内の先輩社員が後輩社員に対して行う個別支援活動。

市政一般に対する質問と答弁



村瀬正樹 議員

令和5年度の市政方針と重点施策について

問 「一般道路改修事業」について、主要道路改修以外の、いわゆる自治会要望対応への心づもりは。

答 一般道路改修事業については、自治会要望により用地取得して複数年にわたって工事を実施していくような比較的大規模な事業を予算計上している。自治会の細かなニーズに対応していくものに対しては、道路では緊急工事委託事業、河川や水路では河川管理事務や農業用施設事業で予算計上している。このように多様な自治会要望にも対応するべく当初予算を確保している。

問 「防犯活動推進事業」について、新年度の増設計画は。

答 防犯灯については、LED化や設置基準を緩和するなど設置を進めており、1月末時点において、市内全域で4,615基設置している。

防犯カメラについては、通学路を中心に現在133台設置しており、事件や事故の際、警察から捜査の

照会により映像を提供している。効果的な場所への移設も考えている。

また、県や市において、自治会や商店街等の団体に対し、防犯カメラ設置に対する補助制度もある。

マスク着脱に関する市の方針について

問 マスク着脱の判断基準は。

答 厚生労働省が本年2月10日に決定した「マスク着用の考え方の見直し案について」では、「個人の主体的な選択を尊重」し、着用は「個人の判断に委ねること」を基本として、3月13日から適用すると示されていることから、本市も「これに準じて」対応していく。

新庁舎建設について

問 なぜ、アンケートの集計分析、今後のスケジュール立案等に時間を要しているのか。

答 令和4年4月に発足した情勢整理部会の結果と市民アンケートの結果が概ねまとまった秋以降に、本格的に検証作業が実施されたことから、検証結果や今後の進め方の指針となる新庁舎整備ロードマップの策定に時間を要することになった。



岸 一夫 議員

児童の通学路について

問 児童の通学時に発生した緊急事態のトイレの設置についての検討は。

答 児童が利用できるトイレの設置については、教育委員会として整備していくことは難しいため、公共施設等に設置しているトイレの利用や、子ども110番の家の拡充などについて、関係部署と協議を行っていく。引き続き子どもたちの安全・安心な通学環境の確保に努めていく。

市道下則友南坂線の交通安全について

問 スピード制限は。

答 市道下則友南坂線については、隣接の県道山之上古井線と同様、速度規制はないが、交通事故防止の観点から、のぼり旗による注意喚起や、警察や関係機関とも連携して啓発活動に取り組んでいく。

問 縁石やコーンの設置は。

答 既存道路の一部余剰については、歩行者の安全

対策及び車道の視認性を考え、早期に視線誘導標を設置していく。

問 横断歩道設置の考えは。

答 警察と協議した回答としては、横断歩行者数が少ないため、現状、横断歩道の設置は難しいと考える。歩行者の安全対策として、スピードを出さないようにドライバーへ注意喚起を行うとともに、地域での見守り活動などのご協力をいただきながら、安全対策に取り組んでいく。

道路側面の管理について

問 大仲寺自治会地内の市道の、高い傾斜に防草シートを設置する考えは。

答 現地確認したところ、道路法面に防草シートを設置することは、法面の保全を損ね、道路構造に支障をきたす恐れがあるため設置は難しいと考える。住民の方が公共施設の清掃美化活動を自主的に行っていただくことを支援する「クリーンパートナー制度」や、地域の農業の共同活動を支援する農業用資源保全管理活動補助金や多面的機能支払交付金制度を活用していただきながら、市民と行政が協働で市内の維持をしていくことが重要と考える。

市政一般に対する質問と答弁



高井実枝 議員

加茂野保育園・加茂野児童館について

問 指定管理の選定と今後の考えられる変更点は。

答 (株)セリオが令和5年から令和7年まで指定管理となっている。保育内容、行事、嘱託医、「ちびっこ相撲かもの場所」等の行事も引き継ぐことになっており大きく変更することはない。保育用品も大きく変更することなく、指定管理期間のみ新旧園児が混在する。新たに0歳児から2歳児の希望者を対象とした「紙おむつ定額利用サービス」を実施する。

問 遊戯棟の今後の予定は。

答 令和8年度から学童保育を移動する必要がある、遊技棟を実施場所として検討中である。

問 児童館の今後の変更点は。

答 現在の行事、運営方法、地域とのつながり等、大きな変更点はない。

観光事業について

問 今後の美濃加茂市の観光事業は。

答 メディカル（医療）ツーリズム、博物館浴等の新たな取り組みがある。リバーポートパーク、ぎふ清流里山公園、また太田宿中山道界限では若手起業人による出店も増加しており、古きよきものを残し、現代にマッチした取組を応援したい。

健康事業について

問 みのかも健康10か条について。

答 美濃加茂市の国保の特定検診受診率は約23%で低い。自分事として市民の健康意識を高めるために、みのかも健康10か条を策定した。今後、クアオルト健康ウォーキングやヘルステック事業の健活ウォーキング等を実践しながら健康増進、健康寿命延伸の仕組み作りをする。なお、クアオルト健康ウォーキングでは2つのコースと専門ガイド（8名）が認定された。

〈みのかも健康10か条〉

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1 検診を受けよう | 6 良質な睡眠をとろう |
| 2 歯を残そう | 7 ストレスをためない生活を送ろう |
| 3 突然死をなくそう | 8 突然の事故を減らそう |
| 4 運動をしよう | 9 誰かとつながろう |
| 5 栄養、正しい食事をしよう | 10 医療と福祉の連携を深めよう |



亀井滋昭 議員

自治体DX推進について

問 職員の業務の負担軽減及び市民サービスの向上と利便性は。

答 オンライン申請システムにより、職員の事務処理等に掛かる時間が削減でき、業務負担は徐々に削減されつつある。また、市役所に行かなくても申請等ができることから、利便性の向上に繋がるのでオンライン化については積極的に進めていく。

問 システムの構築には専門的な知識が必要であると考えますが、その対応は。

答 令和5年度から総務省の地域活性化企業人制度を活用し、民間企業からデジタル専門人材を2名受け入れる。また、職員に対しITパスポートの資格の取得を推奨していく。

問 マイナンバーカード未取得者に対する促進は。

答 市独自のポイント等の還元は考えていないが、マイナンバーカードを使用し、コンビニ等で各種証明書の交付を受ける際の手数料を10円としている。

また今後も申請に対するサポートは行っていく。

問 ICTを活用した情報発信及び市民の声を聴くことは。

答 現在、Twitter、LINE、すぐメール、インスタグラム、Facebook、楽天ブログ、YouTubeで情報発信を行っており、今後もより効果的な情報発信の方法を検討し、取り入れていきたいと考えている。

問 デジタルデバイドの対策は。

答 行政としてどのようなサポートができるか、市民にとってどのようなサポートが必要なのかなど、今後、関係部署と連携し対策を考えていく。

里山資源の活用について

問 里山資源活用の現状及び今後の方針は。

答 アバマキ学校机プロジェクトとして、学校近隣で伐採したアバマキを学童机の天板に使用し、森林や林業について学ぶ機会とする取り組みを行っている。また、里山についての授業を実施して、次世代へ引き継ぐための取り組みを実施している。

市政一般に対する質問と答弁



渡邊一子 議員

市長の政治姿勢について

問 1月28日の中日新聞記事に「駅南」は除外せずとあったが、白紙にしたのは市長では？

答 新庁舎整備ロードマップを進めていく上であらゆる選択肢を検討し、市民との対話を重ね決定していく。現段階では市内全てが候補地である。

問 声を形にしたのは「シン・イクボス宣言」だけだとの声があるが、どう受け止めているか。

答 特産品のPR、不登校児童の相談体制強化、給食アレルギー対応に向けた委員会設置などの具体的な取り組みもしてきた。市民の皆様を知っていただくような情報提供も必要と感じている。

新保育園について

問 下米田保育園の建て替えが決まり、令和8年4月開園と聞いているが、現在の敷地以外に土地購入の予定はあるのか。

答 昨年10月に以前から使用している駐車場用地

877㎡を取得したので、現時点で追加取得は予定していない。

問 現保育園を運営しながらその横に建てるとすると安全確保はできるのか。

答 令和6年度に建設に関して様々な設計を行い、安全確保についてもしっかり行っていく。

問 交流センターや消防詰所、消防車庫について、保育園と同じように老朽化が進んでいる。建て替えをしてほしいとの意見があるが検討しているか。

答 よなだまちづくり構想では、保育園と交流センターは地域や世代間交流ができるよう、程よい距離での配置といった思いがまとめられている。地域の方々の声をしっかりと聞いて一緒に考えていく。

問 どのタイミングで住民向け説明会をするのか。

答 事業者が決定し、市議会へ報告後地域の方々に説明する。令和6年度には、事業者とともに、保護者及び地域の方々を対象に、令和7年度中には、在園児の保護者や次年度入園希望の保護者、地域の方々に改めて説明会を開催していく。

問 空き家問題の今後の対応は。

答 都市計画課を総合相談窓口として、関係各課と連携し継続していく。空き家セミナーを開催し、発生予防や適切な管理の一助につなげていく。



谷本 梓 議員

とくとく先得みのかも応援チケットについて

問 引換え延長を決定した翌日が引換え期限であったため、事業者さんが確認できず対応出来なかったと聞く。電話連絡をするなどの対応は。

答 期限まで時間が短くホームページやプレスリリース、メール配信など即効性のある方法で告知を行い、到着後速やかに開封いただけるよう封筒に「とくとく先得みのかも応援チケット購入期限意向調査票在中」と明記し対応を行った。

各事業者さんへ電話連絡をしなかったことは事実であり今後に生かしたい。

問 今回抽選となったことで郵送費用や委託業者への事業費用は。

答 委託事業費は途中変更契約等がありまだ決定では無いが700万円ほどである。現段階で郵送費用の細かい数字まではわからない。

問 引換え期間の延長により、使用期間の延長もあるか。

答 コロナ禍の影響を鑑み今年の10月までとあらかじめ長い期間を設定しているため、延長する予定はない。

地域資源の活用について

問 美濃加茂市において地域で活動されている企業・団体・個人などの活動内容を紹介し、人・物・場所を必要な人にマッチングできるような場所やシステムがあると美濃加茂市の発展になるのではないかと考える。インターネットを活用した登録や閲覧は国外・国内の観光にも活用できると思うが、今後登録ができるようなシステムを導入することは可能か。

答 現在市内で活動されている111のボランティア団体が登録され問い合わせなどがあつた際にはサポートセンター職員がマッチング役を担い活動を支援している。現在のHPの機能には詳細な活動の情報や、人の他にモノや場所といった「地域資源」の情報がなく、システム上のマッチング機能もない。時代に乗り遅れることの無いよう先進的な取り組みを行っている自治体などの動きを参考に活動を広げていける仕組みづくりを検討していきたい。

市政一般に対する質問と答弁



森 厚夫 議員

新庁舎建設について

問 新庁舎整備ロードマップの詳細は。

答 3月末に公表を予定している新庁舎整備ロードマップは、これまでの新庁舎整備の進め方の検証結果に基づき、これからの進め方について、プロセスいわゆる新庁舎の流れを定めるものであり、市民の皆様と情報を共有しながら、新庁舎整備を一緒に進めていく指針となるものである。

問 今後の新庁舎整備の進め方は。

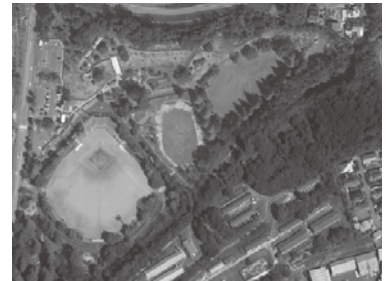
答 これまでの新庁舎の進め方については、公募による市民と外部の有識者等により構成される策定委員会が、旧新庁舎整備基本構想及び旧新庁舎整備基本計画（案）を策定して、その結果を市に答申することで候補地や整備地を決定してきた。検証部会において、候補地や整備地決定のプロセスが市民の皆様に分かりにくかったことや、意見を十分に聴取できなかったこと、説明会開催の周知不足が課題であったという検証を受け、新庁舎ロードマップを策

定し、透明性を確保しながら進めていきたいと考えている。これからの進め方として、検証結果を踏まえ、令和5年度には市民との対話を十分に行ったうえで新庁舎のコンセプトを再検討し、複数の候補地を市民アンケートによって決定したいと考えている。

また、令和6年度には、複数の候補地を新庁舎整備候補地とするうえで必要な調査を行うとともに、対話型の集会であるタウンミーティングを随時行って市民の皆様と情報共有を図っていく。そのうえで、市民アンケート・住民投票・市議会のいずれかの方法により、新庁舎整備地を決定したいと考えている。

問 前平公園南側の約57,000㎡の市有地が最適な候補地と考えるがどうか。

答 今後、新庁舎整備ロードマップに沿って、市民の皆様との対話、市議会議員との意見交換等を踏まえながら、複数の候補地あるいは整備地を決めていきたいと考えている。



前平公園周辺



田口智子 議員

児童の登下校の安全確保・学童保育について

問 夏期の登下校時での熱中症対策の考えは。

答 夏期の気温が高い時期の登下校については、これまでも日傘やネッククーラーなどの活用、ランドセルの中身を軽くするなど、各学校において対策をとってきた。また、コロナ禍においては、保護者の理解を得ながらマスクを外す事も推奨してきた。低学年は一番暑い14時前後の下校となり、加えて1年生だけの下校には心配もあり、梅雨明けの暑い時期においては5時間の授業にして、他学年と下校時間を合わせるなどの対応を学校に推奨していきたいと考えている。

問 次年度の学童保育の状況及び放課後子ども教室との一体的な活用など、利用拡大について。

答 学童保育の当初の申込みについては897人、前年比48人増加となっている。学童保育と放課後子ども教室の一体的な実施による夏期の熱中症対策等、諸問題の解決については、多様化する子どもの

活動や保護者の需要等地域の皆様等、支援をしていただく方との連携をはじめ、子どもの安心・安全な過ごし方の確保に向けてしっかりと取り組んでいきたいと考えている。

中学校部活動について

問 指導者の地域移行による活動方法において運動系部活、文科系部活のそれぞれの課題は。

答 令和5年度より3年間かけて休日の部活動の指導者を教員から外部指導者に段階的に移行していく。運動系部活動の大会参加については市内で合同チームとして活動しており、夏季の中体連の大会にも参加が認められている。しかし、文科系部活動については、活動場所や指導者の確保において準備等が遅れているのが現状である。

問 指導者が確保できない部活の対応は。

答 外部指導者が確保できない部活動については、教員がこれまでと同様に指導を行う。

問 外部指導者による部活動の通知表への記載は。

答 通知表の記載については特に定めは無いが、外部指導者による活動もこれまで通り大会やコンクール等の成績を記載していく。

市政一般に対する質問と答弁



柘植宏一 議員

新庁舎整備事業見直しについて

問 検証内容及びロードマップの市長の所感は。

答 公共コミュニケーションの専門家である東海大学河井教授にファシリテーターをお願いし、様々な角度から検証ができた。ロードマップは検証内容に基づき、これからのプロセスを定めたものであり、市民と情報を共有し、市議会との意見交換等を経ながら、一緒に進めて行くための指針である。

問 想定最大規模の水害対策、市商業ビルの在り方、市街地再開発事業などのそもそもの課題に対する市民理解は。

答 基本構想を再策定するうえで、社会情勢の変化等によりコンセプトの見直しをしていく予定であり、そのコンセプトの見直しや、庁舎の機能を決定していく段階で、市民の皆様との対話を通じて、理解を深めていく予定である。

発達支援センターについて



坂井文好 議員

新聞報道における藤井市長の言動の真意について

問 堂上蜂屋柿を持参して名古屋市長訪問した目的は。

答 1月23日に堂上蜂屋柿を持って名古屋市長を訪問した。この目的は、1月20日に競りを行った名古屋市中央卸売市場が名古屋市の施設であり、管理運営されていること、そして競りが無事できたことに対するお礼と報告、また、2月6日に名古屋市の金山総合駅で飛騨木曾川国定公園連絡協議会主催の観光物産展があり、そこで堂上蜂屋柿を販売することの宣伝を兼ねてのものである。

問 「場所としての選択肢残っている」とし、候補地選定から「駅南」を除外しないという考えは。

答 時代の変化や情報技術の進展などにより、市役所の規模や在り方も変化していく。今後、新庁舎整備ロードマップを進める上で、市民との対話により、どのような市役所を必要とされるのか、その声をしっかりと把握していく中で、候補地も定まって

問 整備計画の概要は。

答 平成28年度の当初構想による建物整備を前提とした考え方でなく、まずは相談支援機能、連携の拠点機能を設置し、ニーズの収集・分析・検証の必要があり、こうしたソフト先行の事業展開のため、令和6年度にセンター機能設置を予定している。

子ども達の居場所等への支援について

問 民間学童保育への支援は。

答 認可外保育施設KDCキッズクラブ（加茂川町、細野和子代表）は外国籍幼児や放課後の学童の預かりなど、多様化する課題に向き合い、子ども達に寄り添った活動をしている。当該施設等を含め、学童保育という制度だけでなく、多様な学習支援、子どもの居場所づくりなどを幅広く研究し、今後の施策展開や支援について検討していきたい。

コミュニティスクール及び地域学校協働活動について

問 今後の取組は。

答 協働活動を推進する「地域学校協働本部」は幅広い地域住民や団体によるネットワークであり、今後はひとづくり課、まちづくり課と推進していく。

くるものと考えている。

そうした意味から、現段階では、選択肢として市内全てが候補地となり得るものと考えている。

問 「(旧)新庁舎整備基本計画(案)がなぜ多くの市民と合意形成をすることができなかったか」の問いに対する解答は。

答 今年度、「(旧)新庁舎整備基本計画(案)がなぜ多くの市民と合意形成をすることができなかったのか」について、新庁舎整備事業プロジェクトチーム検証部会を発足して検証を行った。

令和3年度までの市民意見、令和4年に実施した新庁舎整備における市民アンケートの調査結果、また情報整理部会作成資料等により検証した結果としては、「決定のプロセスが不透明」「市民意見の聴取不足」「情報の発信不足」「機能・規模・候補地などの課題の情報提供不足」という結論に至った。

今後は、「新庁舎整備の進め方の明示」「さらなる市民との対話」「情報発信の強化」などに努め、市民との合意を形成しながら、新庁舎整備を進めていく必要があると考えている。

市政一般に対する質問と答弁



瀬瀬源太 議員

18歳までの医療費の無償化について

問 18歳までの医療費の無償化は県内自治体の中でも増えている。子育て支援からも実施すべきでは。

答 18歳まで医療費助成については県内半数を超える自治体を実施しているが、財政状況により格差が生じている。国や県に対して制度創設と財源措置を要望してきた。予算の優先順位をつけることは難しいが、少子化や子育て支援の施策は非常に重要と考える。

給食費無償化について

問 給食費を無償化するとどれだけの予算が必要か。小中学生の給食費は、憲法で定める義務教育の無償化及び少子化対策の一環として、経済支援の意味からも実施すべきでは。

答 給食費の無償化には3億3千万円以上が必要である。市としては優先順位や財政状況を考えると、直ちに無償化は困難であるが、物価高騰対策として

今年度は2,800万円を補正予算で対応し、来年度の当初予算では2,000万円の予算を追加でお願いしている。

新庁舎問題について

問 現庁舎の耐震工事の費用は。

答 設計監理業務など関連する費用を含めて、約1億8千万円である。

問 現庁舎の南海トラフ地震発生時の想定被害は。

答 現庁舎は10年毎に強度試験では問題ないが、巨大地震が発生した場合は電気や水道などのインフラ整備が保たれない可能性が高い。

問 駅前候補地は商業ビル用地か。商業ビルに対する市からの支出は。

答 駅前候補地の範囲に商業ビルは含まれる。商業ビルには23年間で年平均5,400万円支出している。

とくとく先得チケットについて

問 事業の予算は。また、事務費は委託事業者に払った分も含めていくらか。

答 事業の予算額は2億円で、そのうち財源として、国からの地方創生臨時交付金が1億3,300万円である。事務費の全体の支出に占める割合は1割である。



永田徳男 議員

再審請求について

問 市民からの「再審請求はやめてほしい、再審請求をするのであれば、個人で行なってほしい」との声に対してどのように思われるのか。

答 現在異議申し立てをしている、今後再審請求をするにあたり、新証拠が必要ということであるが、もう一度チャレンジしたいと思っている。しかし、市民の皆様の声に真摯に考えていきたい。

立地適正化計画について

問 美濃加茂市における立地適正化計画以外に有利な国の支援の開発メニューはあるのか。

答 市では、立地適正化計画を策定している自治体のみが実施できる国の支援事業の「都市構造再編集支援事業」を活用し事業を行っており、都市機能誘導区域や居住誘導区域内で、まちづくりに向けた施設等の整備を計画する場合は、都市構造再編集支援事業が最適であると考えている。

水害について

問 激甚災害対策特別緊急事業で完成した堤防の標高はどれくらいあるのか、本市は、洪水に強い街と言えるのか。

答 この堤防の標高は、深田ポンプ場付近では、標高約68.9m、駅前ポンプ付近では、標高約68.7mであり場所によって異なるが、9・28災害時の今渡水位 標高66.5mより高くなっている。この堤防等の計画目標は、流域治水も含め、新丸山ダムの完成や諸施設の整備促進、必要な機能を合わせる事により、昭和58年9月28日の災害時と同規模の洪水を安全に流下させることとなっている。



木曽川緑地ライン公園から見た、激甚災害対策特別緊急事業で完成した堤防が美濃加茂市を水害から守っている（昭和63年完成）

市政一般に対する質問と答弁



森 弓子 議員

牧野ふれあい広場について

問 陸上トラックが、土から全天候型タータンに変更になったが、第3種の公式競技場にならないか。また、完成したところから部分利用できないか。

答 第3種公認は難しい。第4種若しくは第4種ライトの公認の取得には、競技場の仕様だけでなく様々な要件があるので、今後、整備する内容を検討し最終的に判断したい。管理棟を設置して常駐の管理人を置く予定なので、完成前の一部供用開始は慎重に判断する。使用開始は令和7年度から延びる可能性がある。

SDGsの取組について

問 SDGsの担当が環境課に移動した理由は。また、市民に分かりやすい内容は。

答 当市はSDGs未来都市に選定されたが、市民の方々に浸透していかなかった。そこで、一度スタートラインに戻り、できるところから確実に推進すべ

きとの判断に至った。国が、公共施設に太陽光パネルの設置目標を2030年までに50%と目標設定されたので、産業振興部内で一元的に取り組む。ソーシャルビジネス等については、連携を強化し事業推進を図っていく。

オーガニック給食等について

問 農薬使用など食べ物の安全性が問われているので、ぼかしや、ダンボール堆肥、三和地区の「たけこ」など発酵素材を利用した農薬を推進しては。また、オーガニック給食プロジェクトを立ち上げてはどうか。

答 農業の基本は土づくりだと認識し、堆肥や発酵関連や一般に炭素循環農法と言われるものの手法は多数あるので、美濃加茂市ならではの独自性があるものを目指したい。無農薬に取り組んでいる農家と面談し、課題点を聞くなどして、できることを洗い出している。有機作物等、農薬や食に関することについて、可茂農林事務所、農林課及び生産者で構成する協議会を立ち上げ検討を進めていくと聞いている。市内の私立保育でも、オーガニック給食に取り組まれているので、参考にしながら前向きに取り組んでいきたい。



金井文敏 議員

支えあい助けあう地域社会の構築について

問 食品など日常の買い物に困っている高齢者などを支援するための宅配サービスや、地域を巡回する移動販売カー運行の考えは。

答 支援の在り方は、大きな課題であると考えている。宅配サービスや移動販売サービスなどについては、地域の現状や既存の資源の把握に努め、地域で活躍されている団体や企業等との連携を含めて、検討していく。

問 スーパーなど商業施設への送迎用デマンド交通の整備の考えは。

答 市民の皆さまのご要望について、先進地の外出支援等も参考にしながら、費用や効果等について検証し、より良い方法について、関係部署と協議を進めていきたい。

問 心のサポーター養成制度の充実についての見解は。

答 心のサポーターは、メンタルヘルスの問題を抱

える家族やその同僚等に対する、傾聴を中心とした支援者のことを指しており、このサポーターが養成されていくことで、精神疾患の予防や早期介入につながるものと考えている。

デフリンピック支援と共生社会の推進について

問 障がい者がスポーツや文化芸術に取り組む環境や基盤整備の見解は。

答 住み慣れた地域で誰もが自分に適した暮らしができるよう、「都市計画マスタープラン」などに基づき、バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮したまちづくりを推進していく。

問 応援事業（ホストタウン）への参加についての見解は。

答 デフリンピック*2025夏季大会の東京開催への応援事業に関しては、応援事業の詳細等が公開された場合は、関係機関等と十分に協議し、検討してまいりたい。

*デフリンピック…耳の聞こえないアスリートのためのオリンピックのこと。

新庁舎建設特別委員会を開催しました

(旧)新庁舎整備基本構想・(旧)新庁舎整備基本計画が見直しとなりました。令和4年度、市では「(旧)新庁舎整備基本計画(案)がなぜ多くの市民の方と合意形成することができなかったのか」について、市民アンケートの実施や、プロジェクトチームを発足するなど検証作業を開始しました。

これまで行ってきた検証結果等から、市は新たに「新庁舎整備ロードマップ」を策定しました。これからの新庁舎整備の進め方についてのプロセスを定めたものであり、市民の皆様と共有して、新庁舎整備を一緒に進めていく指針となるものです。

市議会としても、今後の新庁舎整備の進め方・プロセスについて、執行部と慎重に協議を行い、よりよい新庁舎が完成するように取り組んでいきます。



本会議の様子は、議会中継でチェック!

市議会本会議の様子をインターネットで配信しています。議会の開催日にはライブ中継も行っています。パソコン、スマートフォンやタブレット端末でぜひご視聴ください。

■美濃加茂市議会 議会中継 アドレス
<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/minokamo/WebView/rd/council.html>



美濃加茂市議会 議会中継

検索

次の定例会の予定

令和5年市議会第2回定例会

6月13日(火) 初日

20日(火) 一般質問

21日(水) 一般質問

22日(木) 質疑

29日(木) 最終日

場所:市役所本庁舎3階 議場

時間:午前9時から(最終日は委員会終了後)

※日程は都合により変更となる場合があります。詳細は議会事務局までお問い合わせください。

第1回定例会の議場装花



議場に飾られている花は、加茂農林高校園芸流通科の生徒さんに作っていただきました。

次回の議会だよりは、令和5年8月1日を予定しています。ご意見ご感想は、市議会ホームページ(ご意見・アンケート)、はがき、ファックス、メールにてお寄せください。

編集後記

3月は出会いと別れの季節。喜び、悲しみ、期待、寂しさ...いろいろな気持ちを胸に抱きつつ、新しい季節を迎えられた事と思います。

美濃加茂市も新年度を迎え、「孫子の代まで住み続けられるまち」の実現に向けて、①子育て環境の充実、②特色ある保育・教育の実施、③DXの推進、④里山資源の活用、⑤地域産業の支援、⑥シティプロモーション、⑦公共施設の整備と7つの重点テーマが掲げられました。

第6次総合計画も4年目を迎え計画の中盤に差しかかろうとしています。アフターコロナの現状を踏まえた事業の計画、推進に注視していきたいと思えます。新しい環境は、新しい自分や人との出会い、チャンスがあります。議会も新しい扉を開けて、より一層気持ちを引き締めて前に進んでまいります。
田口 智子

